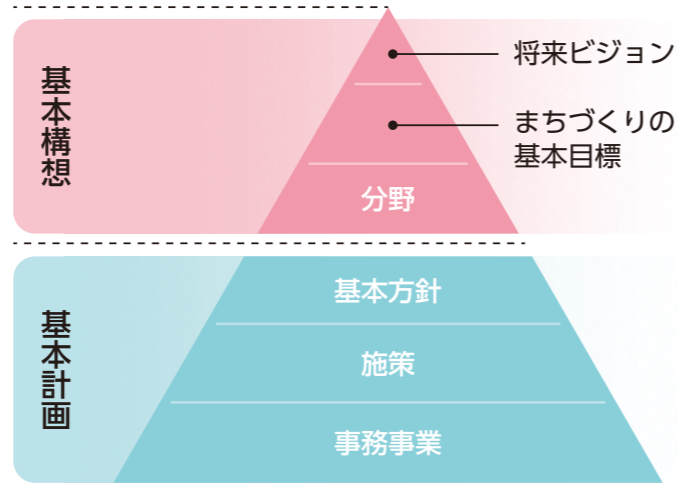


総合計画について

総合計画は、「草津市自治体基本条例」に基づき策定する、“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”となる市の最上位計画です。

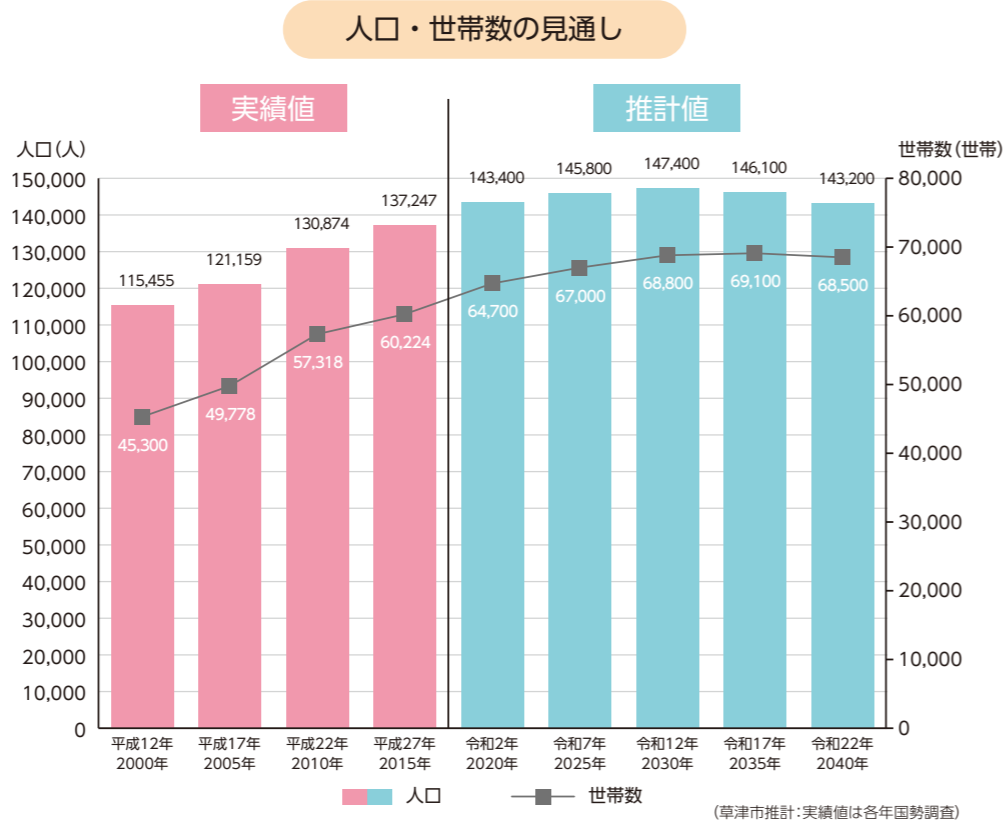
総合計画は、「基本構想」と「基本計画」からなる二層構造で、「基本構想」は12年間、「基本計画」は1期4年の3期計画としています。



人口・世帯数の見通し

本市の人口は、令和12(2030)年には147,400人程度となり、その後は減少に転じ、令和22(2040)年には143,200人程度になると見込まれます。

また、世帯数は、令和22(2040)年には68,500世帯程度になる見込みとなっています。



第6次
草津市総合計画
2021-2032

概要版



ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐふるさと

健幸創造都市 草津

絆をつむぐふるさと

人と人、人から地域、まちへと広がる“つながり”から生まれる“絆”をつむぐことで、私たちのそして、その心は、“くさつ愛”へと変わり、まちづくりの原動力となるとともに、ときを重ねても、また、人と人、人から地域、まちへと“つながり”が広がることで、まちの資源や魅力が一層輝き、そして、その大きな力は、様々な課題に果敢に挑戦する知恵や勇気へと変わるとともに、未来を住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちとなります。

健幸創造都市

まちにぬくもりや心地よさが醸成され、まちへの湧き上がる愛着と誇りが生み出されます。私たちのまちは、誰からも愛される“ふるさと”となります。き、活力に満ちた大きなエネルギーが生み出されます。切り拓いていくための力となり、ときを重ねても、私たちのまちは、いつまでも活気にあふれ、



人口フレーム

令和14(2032)年
147,000人

5つの「まちづくりの基本目標」

協働

行政と市民などの役割を明確にし、それぞれがまちづくりを行うとともに、自分たちの力だけでは解決できない課題については多様なまちづくりの主体と連携・協力し、住みよいまちを目指します。

SDGs

総合計画では、SDGsという世界共通のものさしを用い、多様なステークホルダーとの連携の強化や目標の共有を図りながら、持続可能なまちの実現を目指します。



将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」を市民とともに実現するため、5つの「まちづくりの基本目標」を掲げるとともに、分野ごとの取組の方向性を示します。また、将来ビジョンの実現に向けては、「協働」と「SDGs」の視点を踏まえたまちづくりを進めます。

視点

- 基本目標 ① 「こころ」育むまち
- 基本目標 ② 「笑顔」輝くまち
- 基本目標 ③ 「暮らし」支えるまち
- 基本目標 ④ 「魅力」あふれるまち
- 基本目標 ⑤ 「未来」への責任